



# ブルー・アルタイ ルを一杯

---

---

b-svaha

---

## ブルー・アルタイルを一杯

---

夕食後、何気なくラジオを聴いていたら、  
ピピパ、ザーという雑音の後に、こんな会話が聞こえてきた。

女： 「何だかあなた、今夜はとっても目が異星人ぼくってよ」

男： 「そうだろうな。

なんせ、森向こうの多次元バーで、  
魚人たちを相手に  
異次元交流アンプリファイアー入りの  
ブルー・アルタイルを一杯やってきたからね...」

女： 「ああら、やっぱりそうなのね。  
これで今週は、3回目ですわね。  
ふふっ、あなたも凝り性ね。

それで、今夜はどの次元へ  
私をお連れなさるのかしら...」

BGMや効果音などはなかった。

そのあとの会話は、ホワイトノイズに擦れ、  
次第に聞き取れなくなっていった。